

新たなみさき公園整備に向けた アンケート調査結果について

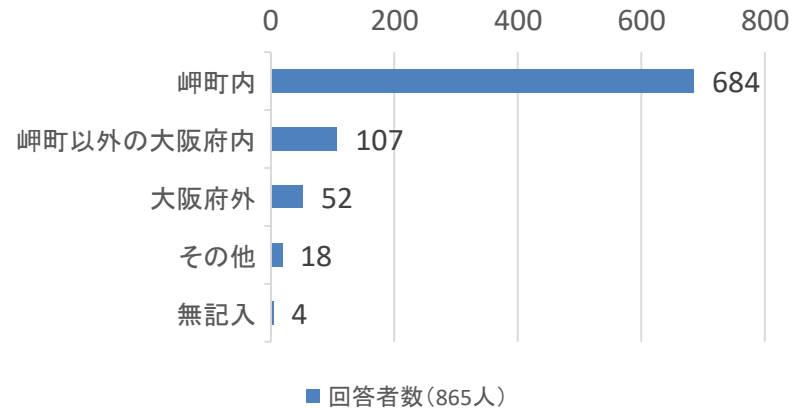
【総合回答版】

アンケート実施期間【6月18日～7月15日】

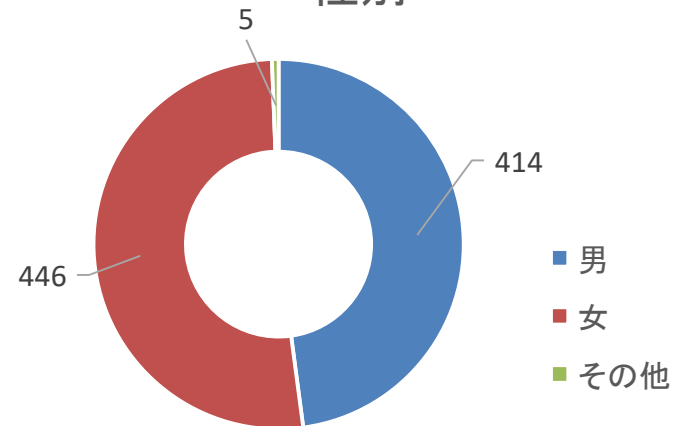
WEB:796人、紙媒体69人 合計865人

Q1.あなたのことについてお答えください。

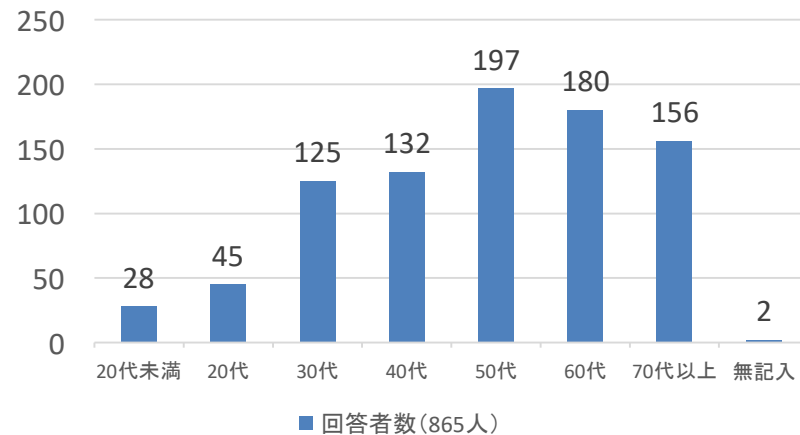
居住地



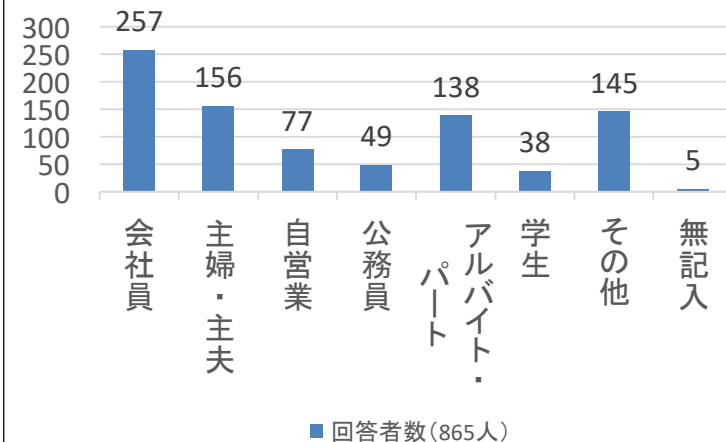
性別



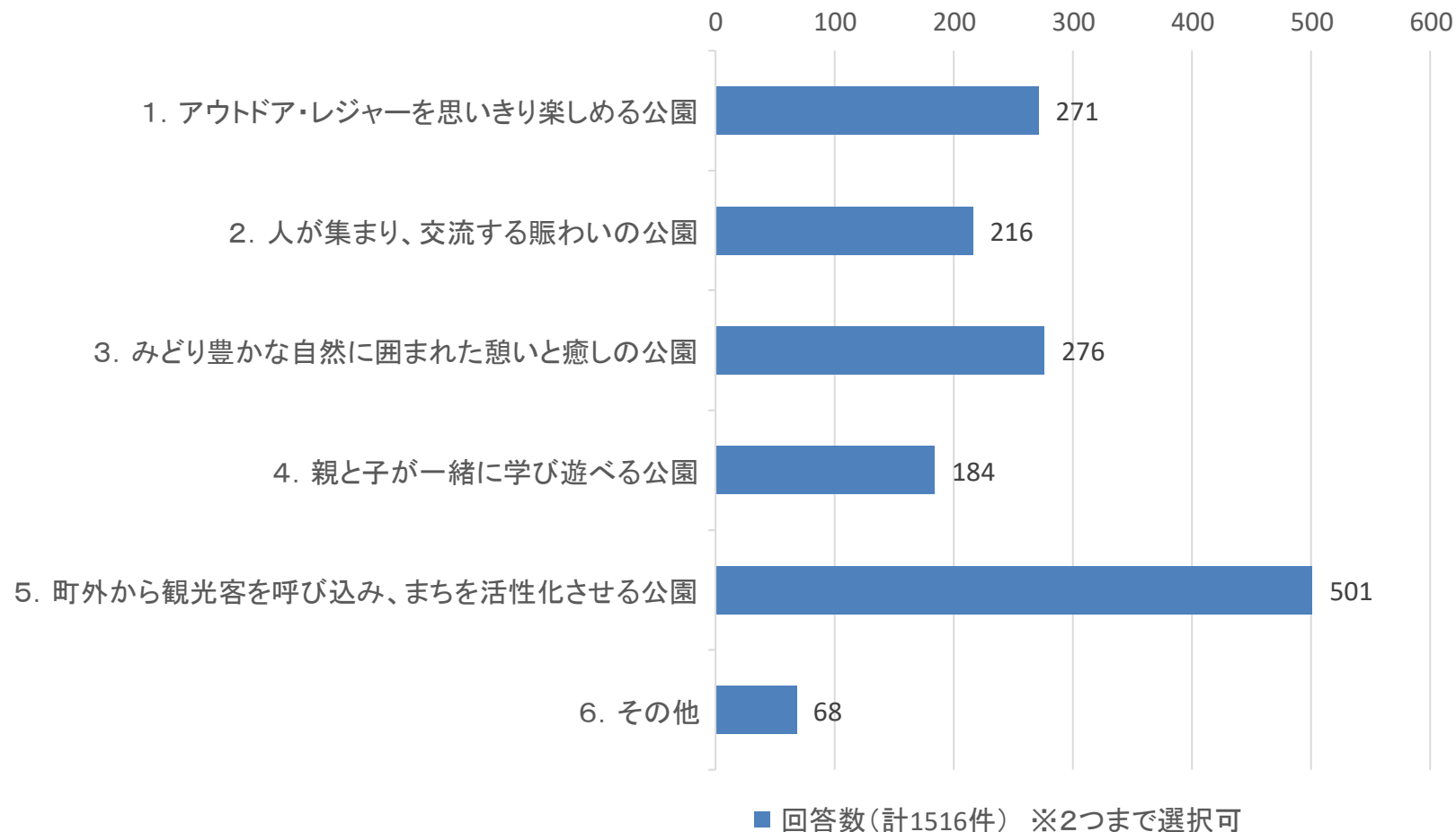
年齢層



職業



Q2. あなたが利用したいと思う「新たなみさき公園」のイメージをお聞かせください。



Q2. あなたが利用したいと思う「新たなみさき公園」のイメージをお聞かせください。

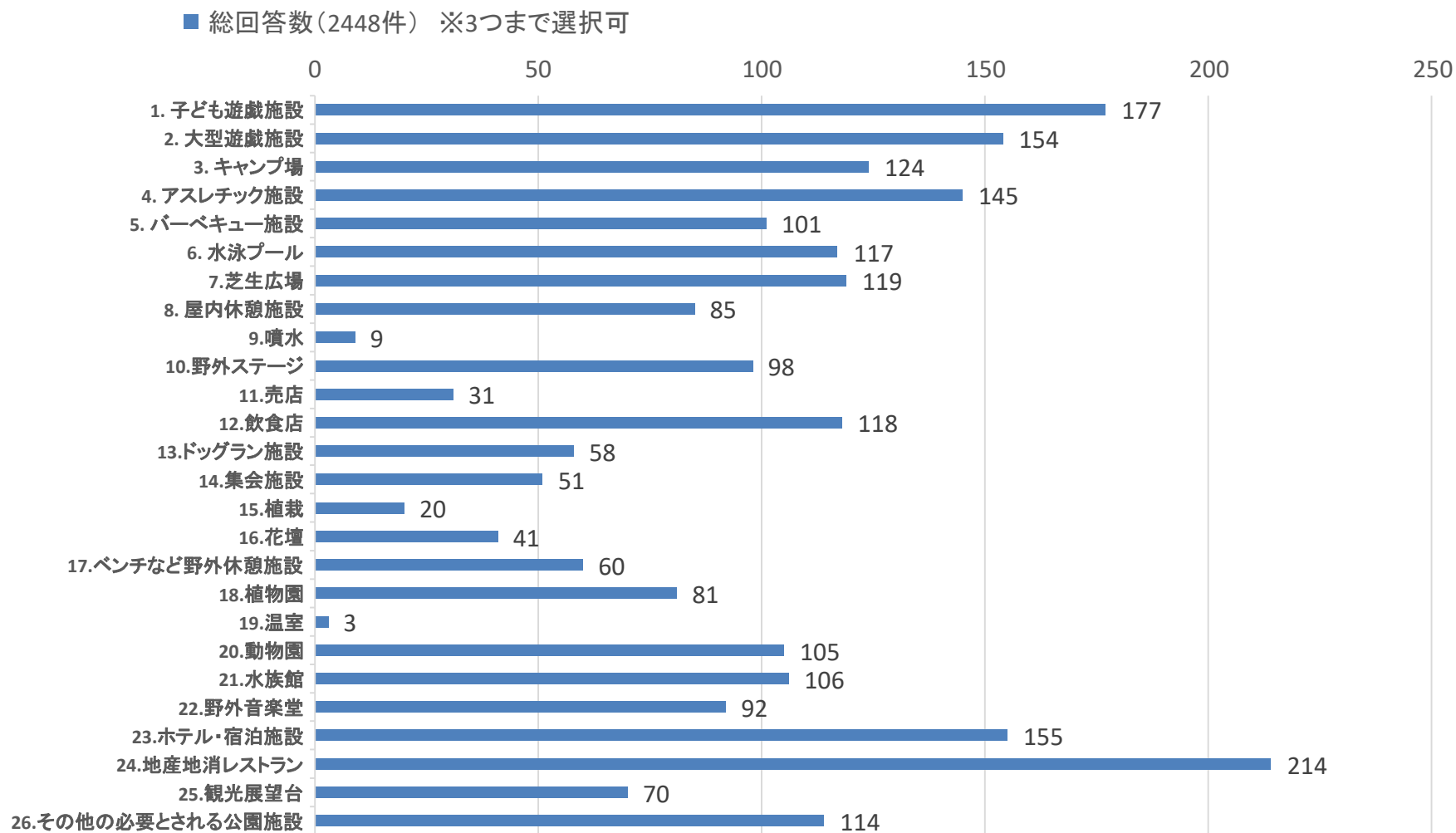
Q2の回答内容の特徴：

- ・Q2では、「観光客を呼び込み、まちを活性化させる公園」が最も多く、他の項目を大きく上回っており、観光拠点としての公園の再整備が最も強く期待されている。
- ・回答者の属性別の整理においても、居住地を問わず「観光客を呼び込み、まちを活性化させる公園」が最多であった。岬町民自身も観光地としての再整備を最も強く望んでおり、「町外から見た魅力」と「住民の願い」が一致している。
- ・「みどり豊かな自然に囲まれた憩いと癒しの公園」と「アウトドア・レジャーを思いきり楽しめるの公園」がほぼ同数で続き、自然環境を活かした公園整備への支持も根強い。

「その他」を選択された方の主なご意見等

- ・「商業施設」、「病院・高齢社福祉施設」、「図書館」、「公民館」などの社会教育施設、「庁舎」などの行政機能のほか、「マンション・住宅開発」、「スポーツ施設」などの意見が寄せられた。

Q3. Q2で答えたイメージについて、具体的にどのような公園施設の設置が必要と思うか お聞かせください。



Q3. Q2で答えたイメージについて、具体的にどのような公園施設の設置が必要と思うか お聞かせください。

Q3の回答内容の特徴：

- ・Q3では、「地産地消レストラン」が全施設の中で最も多く、Q2で観光拠点化を望む声が最多だったことと一致しており、飲食を軸にした集客への期待が最も強い。
- ・また、「ホテル・宿泊施設」も多く選ばれており、日帰り型ではなく滞在型の観光地としての整備を望む意向が示されている。
- ・「子ども遊戯施設」については、Q2のイメージ選択では「親と子が一緒に学び遊べる公園」の選択率は高くなかったものの、具体的な施設としては、「子ども向け遊戯施設」への要望は根強い。特に、回答者の属性別の集計では、30代の主婦・主夫層において「子ども遊戯施設」への要望が強い。

「その他」を選択された方の主なご意見等

- ・「図書館」、「公民館」などの社会教育施設、「商業施設」、「スポーツ施設」、「テーマパーク」、「温泉施設」などの意見が寄せられた。

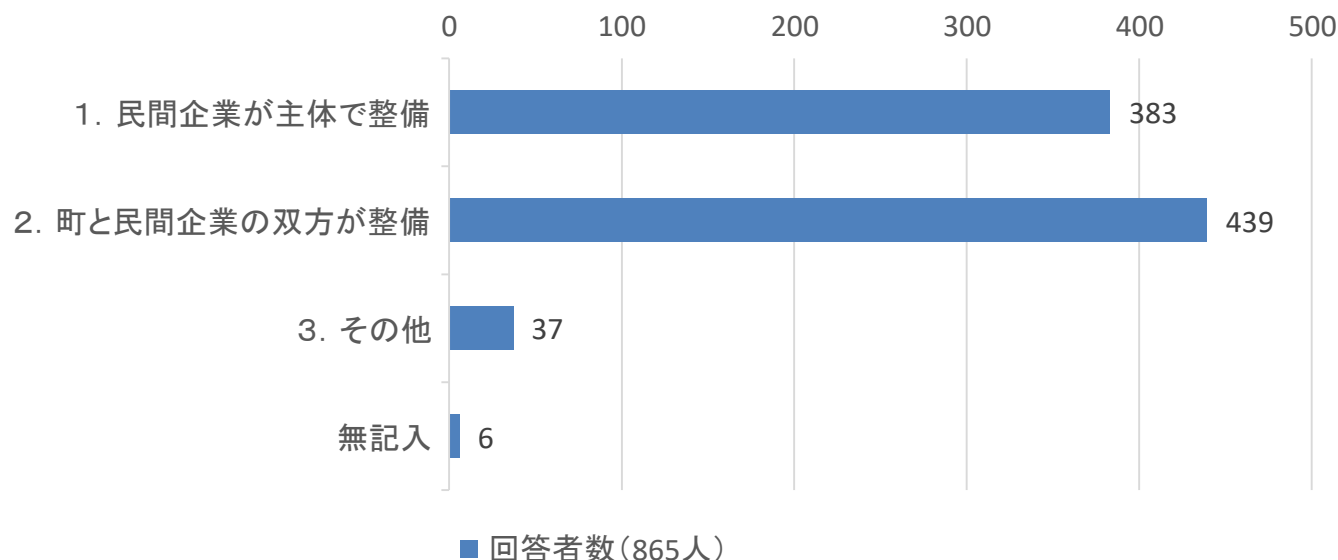
Q4. 「新たなみさき公園」を将来にわたって維持していくために、民間企業・事業者の力（資金や経営ノウハウ）をどの程度取り入れるべきだと思いますか？

1. 民間企業が主体で整備

町の負担をできる限り減らすため、民間企業のノウハウを積極的に活用し、ホテルや観光施設などを取り入れつつ、その収益を財源に充て、公園を維持する。

2. 町と民間企業の双方が整備

公園の一部にカフェやレストランなどの店舗を誘致しつつ、公園を維持するために、町も一部を負担する。



Q4. 「新たなみさき公園」を将来にわたって維持していくために、民間企業・事業者の力（資金や経営ノウハウ）をどの程度取り入れるべきだと思いますか？

Q4の回答内容の特徴：

- ・「町と民間企業の双方が整備」が過半数（50.7%）を占めて最も多く、公園としての公共性を町が一定程度担保しつつ、収益施設は民間に委ねるバランス型の運営を望む声が多い。
- ・一方では、「民間企業が主体で整備」も4割（44.3%）を超えて多く選ばれており、町の財政負担を抑えたいという意向も強く示されている。
- ・上記2つの回答を合わせると95%に達し、民間活力の導入に極めて前向きな結果となり、「行政主体での整備」を支持する意見はほとんど見られなかった。

「その他」を選択された方の主なご意見等

- ・まちの財政負担の最小化、収益性の高い施設の要望、事業開始初期における民間負担の軽減、国や大阪府との連携を求める意見などが寄せられた。

Q5. あなたが必要と考える「新たなみさき公園」のコンセプトや事業方針、事業内容に関するアイデア・ご提案事項などがありましたらお聞かせください。(自由記載欄)

Q5自由記載欄(全511件の記述)のうち、半数以上は、「具体的な施設等に関するご意見」であり、他には、事業運営手法や財源などに関する提言、みさき公園に関する応援メッセージ、今後のみさき公園のあり方等に関するご意見などがあった。

「具体的な施設等に関するご意見」(自由記載欄)の傾向

- 「飲食(カフェ・レストラン・マルシェ等)」に関する要望が多く寄せられ、Q3において「地産地消レストラン」が高い支持を得ていた傾向と一致している。
- 「宿泊施設」を望む意見や、日帰り型にとどまらない「滞在型」の観光拠点化を望む意見が多く寄せられた。
- 「動物園・水族館」については、旧みさき公園への愛着や記憶から、復活を望む意見が寄せられた。
- 多く寄せられた意見の傾向としては、「飲食」、「宿泊」、「スポーツ」など、近隣の成功事例や、旧みさき公園の記憶を踏まえた施設に関する内容が中心となっている。
- また、上記以外では、「商業施設」、「図書館・学習・文化施設」、「キャンプ・アウトドア施設」、「住宅・行政機能」、「イベント施設」、「温浴施設」などを提案する意見も寄せられた。

総括：アンケート結果の概要

回答者の属性について

① 回答者の約8割(79.1%)が岬町内に居住

② 30～70代で全体の約91%(50代以上が全体の6割程度、30～40代が3割程度)。

新たな公園として望むものの傾向について

① 観光拠点としての再整備

Q2・Q3・Q5のいずれにおいても「観光客の誘致」、「地産地消レストラン」、「ホテル・宿泊施設」への支持が一貫して高く、日帰り利用にとどまらない滞在・消費を伴う観光拠点化への期待が強い結果となった。また、町民自身も観光地としての再整備を最も強く望んでおり、「町外から見た魅力」と「住民の願い」が一致している。

② 自然・アウトドア資源を活かした整備

「みどり豊かな自然に囲まれた憩いと癒しの公園」、「アウトドア・レジャーを思いきり楽しめる公園」が、ともに高い支持を得ており、海・山をはじめとする本町の立地資源を活かした整備が重視されている。

整備手法において重視されている視点について

① 官民連携による整備・運営

民間活力の導入(民間主体又は官民双方)への支持は95%に達し、行政単独での整備を望む声はほとんど見られなかった。一方で、町の財政負担への懸念も多く寄せられ、「町の負担を最小限にした官民連携手法」が重視されている。